

調査研究・保存・活用の課題と方針と措置の一覧

調査研究・保存・活用の課題		方針	No.	事業（措置）名	事業概要・業務内容	課名	令和7年度の取組状況	「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】			「③遅延」「④保留・中止」の理由【H列で③④を選んだ場合】	「⑤未到」の取組開始時期【H列で⑤選んだ場合】
								予算等の事業名	取組状況及び成果	活用する補助金・交付金名		
調査研究	・文化財の内容や価値を把握するための調査の推進	①系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし	1	「文化財カルテ」の作成	文化財の現状把握を図り、保護や保全につなげるため、文化財の状態を記録する「文化財カルテづくり」を進めます。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・調査で把握した文化財について、随時入力を進めている。（令和7年度入力数：171件）	—	—	—
			2	博物館施設における資料の収集・保管	歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	歴史博物館管理運営経費	・寄贈・寄託の受け入れ（令和7年度受け入れ数：4件）、収蔵庫・展示室の環境管理、企画展の開催等、随時行っている。	—	—	—
			3	郷土資料の購入	郷土に関係する資料を購入し、大野市外への散逸を防止します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	歴史博物館管理運営経費	・販売目録を確認したが、購入希望の資料がなかったため、購入しなかった。	—	—	—
			4	文化財の調査の実施	調査未実施の文化財について、所在及び現状を把握するための調査を実施します。把握調査結果は、詳細調査の要否や優先順位、実施時期や方法についての検討資料とします。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境保全事業 化石保全活用事業	・仏像神像調査において、6ヵ所20点を対象に専門家による二次（詳細）調査を実施した。 ・福井県立恐竜博物館と共同で、伊月化石壁、荒島岳東方、中部縦貫自動車道工事での番屋橋工事現場などの岩石を対象に化石発掘集中調査を4日間実施し、206点の化石を収集した。	—	—	—
			5	『奥越史料』の発行	郷土の歴史や自然などについて執筆された論文をまとめた冊子『奥越史料』を発刊します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	奥越史料発刊事業	・令和8年度発刊に向け、文化財保護審議会での協議や、印刷製本に係る経費の予算要求を行った。	—	—	—
保存	・文化財保護を担う後継者の減少 ・歴史的建造物などの管理放棄によるき損や滅失 ・地域の防犯・防災対応の弱体化	②指定文化財の価値の再把握や未指定文化財の指定など ③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備 ⑤市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しむ知る機会の創出 ⑥無形民俗文化財の保護の推進 ⑧文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討	6	文化財の指定や登録	文化財の調査によって得られた結果に基づいて、価値の再把握や新たな文化財の指定に取り組みます。 あわせて、国の文化財登録原簿への登録の提案を積極的に行い、ボトムアップによる未指定文化財の保護を推進します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・仏像神像調査において、6ヵ所20点を対象に専門家による二次（詳細）調査を実施し、文化財としての価値を明らかにした。	—	—	—
			7	指定文化財の維持管理	指定文化財を良好な状態で管理し、保存を図るための計画づくりや補修、清掃などの維持管理を行います。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	文化財環境保全事業 旧橋本家管理運営経費	・市が所有する国重要文化財「旧橋本家」の維持管理や修繕、「佐間遺跡」、市指定史跡「朝倉義景墓」の清掃等を行い、適正に管理している。	—	—	—
			8	指定文化財の保存修復	指定文化財の保存修理と保存整備を行います。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	文化財環境保全事業	・市が所有する国重要文化財「旧橋本家」の維持管理や修繕、「佐間遺跡」、市指定史跡「朝倉義景墓」の清掃等を行い、適正に管理している。	—	—	—
			9	市指定文化財「大野市民俗資料館」の管理	明治期に建てられた大野市民俗資料館（市指定）を適正に管理し、一般公開します。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	民俗資料館管理運営経費	・適切に維持管理し、一般公開した。	—	—	—
			10	指定文化財の保存修理に対する支援	指定文化財の修理事業の支援を行います。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業について、大野市指定文化財保存修理等補助金による市からの補助などその支援を行った。	福井県指定文化財保存修理等補助金	—	—
			11	文化財防火訓練・査察の実施	文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練と防火査察を実施します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財保護審議会経費	・1者が所蔵する文化財について、文化財保護審議委員とともに防火査察を行った。 ・国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」のガイダンス施設「本願清水イトヨの里」において、消防本部とともに文化財防火訓練を行った。	—	—	—
			12	指定文化財の保護パトロールの実施	指定文化財の状態の把握と破損の早期発見を目的としたパトロールを実施します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・指定文化財のパトロールを行い、風雪等による被害把握に努めた。	—	—	—
保存	・文化財保護を担う後継者の減少 ・歴史的建造物などの管理放棄によるき損や滅失 ・地域の防犯・防災対応の弱体化	②指定文化財の価値の再把握や未指定文化財の指定など ③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備 ⑤市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しむ知る機会の創出 ⑥無形民俗文化財の保護の推進 ⑧文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討	13	「大野市地域防災計画」の推進	各種災害に対する日常的予防や被災時の対応、防災体制づくりなど、市民の生命及び文化財を含む財産を守るための事業実施を推進します。	防災防犯課	②概ね順調	防災対策経費	・下庄地区で総合防災訓練を行い、自主防災組織の動きの確認や、協定先との連携を図った。	—	—	—
			2	博物館施設における資料の収集・保管	歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	博物館管理運営経費	・寄贈・寄託の受け入れ（令和7年度受け入れ数：4件）、収蔵庫・展示室の環境管理、企画展の開催等、随時行っている。	—	—	—
			3	郷土資料の購入	郷土に関係する資料を購入し、大野市外への散逸を防止します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	歴史博物館管理運営経費	・販売目録を確認したが、購入希望の資料がなかったため、購入しなかった。	—	—	—
			14	文化財標柱の設置	指定文化財やその他の城跡、古墳などがある場所に文化財の名称や概要を表示した標柱を設置します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・県指定文化財「南専寺山門」「南専寺庭園」の標柱を更新した。	—	—	—
			15	「おおの遺産」の認証	「おおの遺産」の候補の調査結果に基づいて、新たな「おおの遺産」の認証に取り組みます。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	伝統文化伝承事業	・新たに、新町区の「あぶらや地藏尊御例祭」を「おおの遺産」に認証した。累計認証数29件。	—	—	—
			16	無形民俗文化財の保存育成に対する支援	大野市内に伝わる踊りや太鼓などの無形民俗文化財保存団体の活動を支援します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	無形文化財保存育成事業補助	・市内の無形民俗文化財保存を行う4団体に対して補助金を交付した。 ・補助に当たっては市内の無形民俗文化財保存団体による保存・継承のための活動を把握し、補助金以外の支援の是非について検討資料とした。	—	—	—
			17	生涯学習推進計画の事業の推進	伝統芸能や伝統行事の継続など、地域の課題解決に関する学習を進めます。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	いきいきわくわく学習事業	・神子踊り伝承教室 3回 55名 ・穴馬紙すき 6回 86名 ・穴馬を読もう 1回 12名 ・ふるさとカルタ 3回 37名 ・板の実伝承教室 4回 34名 ・醍醐寺乾側米奉納ツアー 1回 15名 ・みそづくり 9回 101名	—	—	—
活用	・より幅広い文化財を活用する方法の検討 ・文化施設に限らずさまざまな施設での文化財の活用	③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備 ④児童・生徒の郷土愛と文化財愛護意識の醸成 ⑤市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しむ知る機会の創出 ⑥無形民俗文化財の保護の推進 ⑦観光と地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討	9	市指定文化財「大野市民俗資料館」の管理	明治期に建てられた大野市民俗資料館(市指定)を適正に管理し、一般公開します。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	民俗資料館管理運営経費	・適切に維持管理し、一般公開した。	—	—	—
			16	無形民俗文化財の保存育成に対する支援	大野市内に伝わる踊りや太鼓などの無形民俗文化財保存団体の活動を支援します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	無形文化財保存育成事業補助	・市内の無形民俗文化財保存を行う4団体に対して補助金を交付した。 ・補助に当たっては市内の無形民俗文化財保存団体による保存・継承のための活動を把握し、補助金以外の支援の是非について検討資料とした。	—	—	—
			18	小学生の郷土芸能の体験	小学生を対象に、踊りや里神楽、太鼓など地域に伝わる郷土芸能に親しむ機会を作ります。	生涯学習・文化財保護課	④保留・中止	いきいきわくわく学習事業	・太鼓教室 3回 44名（上庄放課後子ども教室） ・地域において郷土芸能の担い手の高齢化などにより活動が縮小・中止されている。	—	・指導者の高齢化などによる活動の縮小・中止	—
			19	子ども向け歴史イベントの実施	史跡めぐりや、古文書体験など歴史イベントを実施します。また郷土の歴史調べなどに協力します。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	歴史博物館管理運営経費	・図書館まつりにおいて、「大野と火事」をテーマにパネル探しゲームを実施。子ども58人が参加。 ・文化財に親しむことを目的に「文化財を楽しむおはなし会」を旧橋本家と民俗資料館で開催。23人が参加。 ・昔のくらしへの関心をもってもらうことを目的に「昔あそび大会」を開催。7人が参加。	—	—	—

調査研究・保存・活用の課題と方針と措置の一覧

調査研究・保存 ・活用の課題		方針	No.	事業（措置）名	事業概要・業務内容	課名	令和7年度の 取組状況	「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】			「③遅延」「④保 留・中止」の理由 【H列で③④を選 んだ場合】	「⑤未到」の 取組開始時期 【H列で⑤選 んだ場合】
								予算等の事業名	取組状況及び成果	活用する補助 金・交付金名		
			20	文化財の出前授業 の実施	小・中学生を対象に、学校を訪問して文化財に 関する授業を行ったり、実際の文化財を見なが ら解説したりします。	生涯学習・文化 財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・施設見学6件、校外学習2件、体験学習1件 合計9件（6校）227人参加	—	—	—
活用	・より幅 広い文化 財を活用 する方法 の検討 ・文化施 設に限ら ずさまざ まな施設 での文化 財の活用	③維持管理や修復、 所有者の防災への意 識の醸成、防災プラン の作成と被災時の 体制整備 ④児童・生徒の郷土 愛と文化財愛護意識 の醸成 ⑤市民の文化財に対 する関心と保護意識 の醸成、来訪者が文 化財を楽しむ機会 の創出 ⑥無形民俗文化財の 保護の推進 ⑦観光と地域づくりに 活用するための関 係機関との調整、新 たな取り組みの検討	21	児童生徒による文 化財情報の発信活 動の実施	児童・生徒が地域の自然や文化、歴史、偉人、 観光資源などについて学習し地域の課題解決な どの内容を企画・提案する学習を行います。ま た学習成果はCMコンテストに応募して発信を 行います。	教育総務課	②概ね順調	ふるさと大野かがやき 隊事業	・全ての小中学校が生活科や総合的な学習の時 間等において、地域の魅力や課題をテーマに探 求活動を行っている。 ・令和3年度～7年度において、県の「ふるさと の魅力発信推進事業補助金」を活用し、毎年2 ～3校ずつ5年間で全14校（3校閉校により現在 11校）が「ふるさと大野かがやき隊事業」を実 施。毎年CMコンテストで受賞校が出ている。 ・令和7年度は、阪谷小学校が優秀賞を有終西 小学校、富田小学校、陽明中学校が奨励賞を受 賞した。	ふるさとの魅力 発信推進事業補 助金	—	—
			22	文化財情報の発信	文化財のさまざまな情報を、ホームページやパ ンフレット、冊子などにまとめて情報発信しま す。	生涯学習・文化 財保護課	②概ね順調	文化財環境保全事業 化石保全活用事業	・博物館企画展、博物館講座、文化財イベント などの文化財情報について、チラシ、市ホーム ページ、展示、SNSで情報発信した。	—	—	—
			23	特別展・企画展の 開催	歴史博物館において、郷土の歴史や文化財を テーマにした特別展・企画展を開催します。	生涯学習・文化 財保護課	①順調	歴史博物館管理運営経 費 民俗資料館管理運営経 費	・伊藤慎蔵生誕200年記念企画展「蘭学の牽引 者 伊藤慎蔵」（311人） ・市民所有の文化財展「藩主土井家菩提寺 善導 寺の寺宝」（388人） ・特別公開「蘭書「和蘭字彙」の○（白丸）・ ●（黒丸）」（42人） ・太郎兵衛火事250年記念企画展「大野と火 事」（634人）	—	—	—
			24	博物館資料の展示 品の解説の充実と 体験機会の創出の 実施	博物館の展示資料について解説を充実させると ともに、実物に触れたり、使ってみたりなどの 体験できる展示を行います。	生涯学習・文化 財保護課	①順調	歴史博物館管理運営経 費	・企画展示や特別公開時に、資料解説を小冊子 体にまとめ、無料配布とした。	—	—	—
			25	古文書資料の活用	収集した古文書資料を一般に公開し、市民や学 校、研究機関などが活用しやすいようにしま す。	生涯学習・文化 財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・古文書複製本の閲覧数 81件	—	—	—
			26	文化財の一般公開	普段はなかなか見ることができない民間所有の 文化財の一般公開を行います。	生涯学習・文化 財保護課	①順調	歴史博物館管理運営経 費	・市民所有の文化財展「藩主土井家菩提寺 善導 寺の寺宝」（388人）	—	—	—
			27	SNS（ソーシャル ネットワークサー ビス）を活用した 情報発信	文化財の保護活動や公開、イベントなど、文化 財に関するさまざまな取り組みをFacebookや スマートフォンのアプリを活用して発信しま す。	生涯学習・文化 財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・文化財に関わる情報をFacebookで、29回発 信した。	—	—	—
			28	越前大野城の維持 管理と活用	大野市のシンボルである越前大野城を適切に維 持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかり の地などを来訪者に情報発信します。また、ス タンプラリーや御城印などイベントに対応しま す。	観光交流課	①順調	越前大野城管理運営経 費 歴史文化施設ぐるっと 満喫事業	・施設を良好な状態に維持している。 ・越前大野城の窓口で御城印、御城印帳を販売 し誘客、満足度向上を促進している。（越前お おの観光ビューロー） ・越前大野城、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧 田村家、歴史博物館、イトヨの里でスタンプを 重ね押しすることによって1枚の絵になる「重 ね捺しスタンプラリー」の実施し、周遊を図っ ている。 ・R158号線の土砂崩れによる通行止めの影響 により、入込数に大きく影響があった。	—	—	—
			29	登録有形文化財の 観光活用	平成大野屋本店洋館（国登録）・二階蔵（国登 録）・平蔵（国登録）をまちなか観光の拠点と して適切に活用します。	観光交流課	①順調	越前おおの結ステー ション管理運営経費	・施設を良好な状態に維持している。 ・平成大野屋本店洋館は観光案内所および飲食 の営業を行い、観光客が滞在する拠点として活 用を行っている。また、二階蔵は体験・展示施 設、平蔵は貸館として活用している。	—	—	—
			30	文化財の発信プロ モーションの取り 組み	文化財の情報をメディアやPR広告などにより発 信する取り組みを行います。	産業政策課	①順調	魅力発信プロモショ ン事業	・HOROSSA！やくざりゅう化石ラガ・ガ ・オーノ、COCONOアートプレイス等のPR広 告を実施し、市内外へ情報発信を行った。 ・県外メディアを訪問し、越前大野城や武家屋 敷旧内山家等のPRを行った。	新しい地方経 済・生活環境創 生交付金（第2 世代交付金）	—	—
活用	・より幅 広い文化 財を活用 する方法 の検討 ・文化施 設に限ら ずさまざ まな施設 での文化 財の活用	③維持管理や修復、 所有者の防災への意 識の醸成、防災プラン の作成と被災時の 体制整備 ④児童・生徒の郷土 愛と文化財愛護意識 の醸成 ⑤市民の文化財に対 する関心と保護意識 の醸成、来訪者が文 化財を楽しむ機会 の創出 ⑥無形民俗文化財の 保護の推進 ⑦観光と地域づくりに 活用するための関 係機関との調整、新 たな取り組みの検討	31	地域資源のブラン ド化の推進	これまで築いてきた越前おおのブランドを磨き 上げ、各産業分野で確ぐ力に具現化するため計 画を推進します。	産業政策課	①順調	稼ぐ力応援事業	・大野市の特色ある資源を活用した新たなビジ ネスの創出を図るため、「結のビジネスプラン コンテスト2025」を開催した。 ・全国的なコンテストなどへの出品を目標とす る事業者に対して、商品の高付加価値化を促進 するセミナー・商品発表会の開催や、8事業者 に対して、商品の高付加価値化に向けた個別の 開発支援を行った。 ・「ニッポンおみやげアワード」において、1 つの商品が入賞、7つの商品が全国推奨観光土 産品の推薦を受けた。	新しい地方経 済・生活環境創 生交付金（第2 世代交付金） ふくい地方創生 推進事業補助金	—	—
			32	古民家ギャラリー の活用	小コレクター運動などの絵画の展示と企画展を 開催します。	地域文化課	①順調	COCONOアートプ レイス管理運営経費	・小コレクター運動により市民が手にした絵画 の常設展示のほか、小コレクター運動に関わっ た作家と現代の作家の作品を織り交ぜた作品展 を行った。また新たな企画として、市美術展入 賞作品の展示を行い、本市の暮らしに根づく小 コレクター運動の普及につなげた。	ふくい地方創生 推進事業補助金	-	-
			33	公共交通の維持と まちづくりへの活 用	公共交通機関の利便性を向上させるとともに、 利用のきっかけとなるイベントを実施すること で、利用促進を図ります。	交通住宅まちづ くり課	①順調	市内路線バス等運行事 業、地域で支える越美 北線事業、広域路線バ ス運行事業補助	・まちなか循環バスの定期券のデジタル化や交 通支援にかかる窓口の一元化など、利便性の向 上を図った。併せて、JR越美北線、広域路線バ ス、市内公共交通の利用促進に取り組んだ。	—	—	—

①順調	予定どおり進捗している
②おおむね順調	概ね予定どおり進捗しているが、改善の余地も残している
③遅延	取り組んではいるが予定よりも遅れている
④保留・中止	取り組みが保留になっている、又は中止を決定した
⑤未到	取り組む予定はあるが、時期が到来していない